

建学の精神「文武不岐」 高朋高等学校だより

令和7年度3月号

発行者 高朋高等学校
住所 富山市東富山寿町 1-1-39
TEL (076) 437-9940
e-mail koho@koho.ac.jp

「見えない姿」

2月にミラノ・コルティナ冬季オリンピックがあり、日本選手団が過去最高のメダル数を獲得して終了しました。「スポーツには筋書きのないドラマがある」という言葉を聞いたことがあります。それが今回のオリンピックでも多くの種目で見られました。

日本選手では「りくりゅうペア」の愛称で親しまれている三浦璃来・木原龍一フィギュアスケートペアの2人です。ランキング1位ながらもSPで5位と出遅れ、木原さんはずっと泣いていたそうです。それを三浦さんがなだめ、勇気づけフリーに臨んだ結果、世界最高得点をたたき出し、見事金メダルに輝き、世界中を感動の渦に巻き込みました。

3月5日にWBCが開幕し、日本の初戦は6日に始まりました。事前のニュースでは大谷翔平選手が話題の中心です。昨年度アメリカメジャーリーグでワールドチャンピオンに輝いたロサンゼルス・ドジャースの大谷翔平選手は、ナ・リーグで3年連続、通算4度目のMVPに輝きました。全米野球記者協会の投票では満場一致で受賞しました。世界中で誰もが認める選手であり、人気も計り知れません。

さて、開幕前に強化試合があり、大リーグ所属の選手は2試合のみの参加規約があったようです。大谷選手には誰もがホームランを期待していたに違いありません。しかし、2試合で5回の打席がありましたが、ヒットは1本もありませんでした。試合後のインタビューでは、「5回の打席に立てたことがよかった」ということを話していました。結果がでなければ、残念がってついついマイナス発言になりそうですが、「バッテリーボックスに5回立てたことがよかった」というプラスの発言でした。想像でしかありませんが、1打席ごとに意図をもってバッテリーボックスに立ち、自分なりに確認したいことがあり、納得のいくものがあつたのではないのでしょうか。

大谷選手は初戦の台湾戦では、初回の初球を打ち、2塁打、2回には満塁ホームランを含む3安打5打点をあげました。強化試合のノーヒットから一転して猛打賞です。満塁で打席が回り、ホームランを打ってしまいます。メンタリティーの強さに運の強さ、それは自分に運んできているかのように千両役者です。最高の状態で試合に臨む体調やメンタリティー、集中力などのマネジメントがしっかりしているところが一流だと思います。大谷選手は、準備を大切にしています。よく聞く話は、睡眠時間は10時間以上だということです。しかし、これだけではなく、自分の最大限の力を発揮するために、食事やトレーニングなど、どれも怠らず、自分のルーティンを守り続けることは、誰もが想像でき、いったいどんなことをしているのかとても興味があります。

どの一流のスポーツ選手も、大きな舞台でこれまでの積み重ねてきたものを発揮できるように準備してきているはず。何度も失敗し挫折したり、けがを克服しながら努力を続けてきたことは、実は表になかなか現れてきません。しかし、「見えぬ姿」こそ一流の証ではないのでしょうか。これこそが誰もが挑み続けなければならないことだと考えます。

最後に、通算で10個のオリンピックメダルを獲得し、今季限りで引退するスピードスケートの高木美帆選手について語っている高校の恩師の言葉を紹介します。高木選手は高校時代から海外遠征に出ており、遠征先でも学習をしながら、資格や単位を取得し卒業にこぎつけたそうです。そんな彼女のことを次のように表現していました。「スポーツだけ一生懸命やるんじゃなくて、全てのことをおろそかにしない」と。好きなこと、やりたいことだけやっていると、夢や希望は実現しないのではないのでしょうか。

教頭 梅澤 健一

沖縄研修旅行を実りあるものに ～沖縄の地理・歴史・文化そして平和について学ぶ～

2学年では、5月6日(水)～9日(土)に実施予定の沖縄研修旅行に向けて、3月4日(水)から事前学習を始めました。事前学習を通して沖縄の地理・歴史・文化について理解を深め、沖縄に興味を持つことができました。さらに、これから、日本で唯一地上戦が行われた沖縄戦を学習し、“平和とは何か”を考えていきます。学習したことを沖縄研修旅行で生かしていきたいと思っております。



【沖縄の動物について】



【美ら海水族館について】



【説明を聞く生徒】



【沖縄について語る渡邊先生】

今後の自分自身のあり方を考える

2月19日(木)、1年生は進学や就職が決まり卒業を控えた3年生の先輩を招き、「先輩に学ぶ会」を実施しました。

3年生から大塚舜太さん(3A)、和泉闘斗さん(3B)、和田暁空さん(3B)の3名に参加してもらい、それぞれがこの3年間で体験したこと、苦勞したこと、努力してきたことについて語ってもらいました。「勉強はしっかりしておいた方がいい」「友達はたくさん作っておこう」など、これからの高校生活へのアドバイスを聞くことができ、進路の実現に向けて考える貴重な体験となりました。



【努力することを忘れないで！】



【進路決定の決め手は？】



【積極的に質問する生徒】

第46回 卒業証書授与式

3月1日(日)午前10時から、第46回卒業証書授与式を行いました。温かい拍手に包まれて卒業生が入場したあと、卒業生代表の和田暁空さんに塩荊校長から卒業証書が授与されました。式辞で塩荊校長は、「大きな夢や目標はあるにしても、そればかり見るのではなく、今日できる小さなことを積み重ねて、一年後、二年後、あるいは数年後の自分に、大きな自信へとつながられる人になってほしいと願っています。」とはなむけの言葉を送りました。

須田理事長の告辞に続き、後援会長 小杉太郎後援会長様と高田泰範同窓会長様から祝辞をいただきました。卒業生は、それぞれの言葉を心に刻んでいました。

送辞では、在校生代表の山根涉夢さんが、お世話になった卒業生への感謝の気持ちを伝えました。

これを受けて、卒業生代表の大澤直輝さんが答辞で「三年間を振り返ると、学びとともに感謝の気持ちで満ちた日々であったと感じています。」と充実した高校生活を振り返り、学校行事での感動や家族や友に感謝の気持ちを伝えました。

式は終始、厳肅かつ温かな雰囲気の中で執り行われ、出席者全員で卒業生の門出を祝いました。退場前には、au 三太郎シリーズでかぐや姫役の有村架純さんから卒業お祝いサプライズムービーも届き、卒業生は、突然のことで驚いていました。式の終了後、卒業生は教室で最後のホームルームを行ったあと、在校生、保護者、教職員が見送る中、晴れ晴れとした表情で学び舎を巣立っていきました。



【卒業証書授与】



【式辞】



【答辞】



【最後のHR(A組)】



【最後のHR(B組)】



【最後のHR(C組)】

【新年度4月の主な行事予定】※変更になることがあります

4月3日(金)	教科書購入	4月20日(月)	歯科検診(2、3年生)、生徒会役員任命式
4月8日(水)	午前：新任式、始業式 午後：入学式	4月21日(火)	専門委員会
4月9日(木)	対面式	4月23日(木)	交通安全教室、内科検診(2、3年生)
4月10日(金)	前期生徒会選挙告示	4月24日(金)	歯科検診(1年生)
4月13日(月)	創校記念式、3年生保護者会	4月27日(月)	心電図健診
4月14日(火)	生徒会選挙、身体測定	4月29日(水)	昭和の日
4月15日(水)	生徒会役員認証式	4月30日(木)	生徒総会

